

# 横須賀山岳会 会歌

作詞・作曲 山田 一郎  
(横須賀山岳会 会員)

- 1、今宵出てゆく横山の友、行くは鹿島か立山、剣  
見送る友がホームで言った、横山の友に幸いあれと
- 2、夜汽車に揺られてまどろむ頃は、可愛いあの娘が臉に浮かぶ  
止めてくれるな俺らも男、笑って送って貰おうぜ
- 3、降り立つホームに迎える山は、見事白銀朝日に映える  
重いザックも希望で軽い、心は早くも頂きに飛ぶ
- 4、ガスに渦巻くあの壁見れば、俺らの五体に溢れる闘志  
思わず上がった横山ファイトに、ザイル捌く手に力がこもる
- 5、輝く太陽にキラリと光る、ピッケル片手にステップきれば  
飛び散る氷片伸びろよザイル、頂上直下のバットレス
- 6、ザイルはずして頂上に立てば、堅い握手に目と目が潤む  
これがこの世の俺らの意気なのさ、山の男の生き甲斐なのさ
- 7、軽く飛ばしてベースに下り、汗に曇ったゴーグルはずしゃ  
澄んだ瞳に雪焼け顔に、映ゆる夕日が紅に沈む
- 8、スノーホールにラテルネ揺れて、夜のとぼりがベースを包む  
擦れた地形図に集まる瞳、明日の登攀はいずこの壁じゃやら
- 9、寒月するどく銀星冴えて、夢の樹氷に冷たく光る  
今日の疲れに若者達の、辿る夢路は白銀の彼方

以上